

CMSC JOURNAL

Vol.9



ツール・ド・東北にて、高橋光男ランサー

'85 JMRC東北ラリーチャンピオンシリーズ、シリーズチャンピオンに輝く！ CMSC福島 高橋光男選手おめでとう！

シリーズ3位

CMSC青森
福士文秀選手
(ランサー)



岩手三菱
ダイヤモンド
ラリーにて

シリーズ4位

CMSC福島
高野正伸選手
(コルディア4WD)



岩手三菱
ダイヤモンド
ラリーにて

第1回ツール・ド・佐渡 総合3位

CMSC栃木
亀田恒夫選手
(ランサー)



ツール・ド・佐渡を
スタートする亀田ランサー

全国CMSCの皆さま 明けましておめでとうございます。



CMSC会長 外川一雄

各支部の皆さまをはじめ、クラブ運営に尽力された幹部の方々、競技会開催にご苦労された競技役員メンバーの方々、更に日頃のトレーニングの成果を各種競技会に生かされ優秀な成績を残された選手の皆さん、本当にご苦労さまでした。全国CMSCの皆さまの活

力が集大成され、昨年とはまことに充実した年として終ることが出来ました。これは取りもなおさず我が国のモータースポーツ界におけるCMSCの権威として高く評価されるものと確信します。

すでに本年も皆さまは、それぞれの計画をお持ちのことと思いま

すが、ぜひ、皆さま共々長年かけて作り上げた団結と人の和を大切に、各支部との連携を密により一層皆さまひとりひとりのモータースポーツがCMSCをベースにすることによって楽しく展開されることを期待します。

皆さまのご健康をお祈りします。

'85CMSC全国大会を開催!

和気あいあいとした中、新たな活躍を目指して



11月3日(日)、'85CMSC全国大会が千葉で開催されました。

午前11時、オートランド千葉に外川会長を始め全国各支部の代表、(株)ラリーアートの代表など50名が集合。本部からのあいさつがあった後、講習会となりました。コーチはADVANスタリオンを駆る山内伸弥氏と国際リスト篠塚建次郎氏、日本タートトライアル界No1ドラ

イバーの栗津原豊氏という豪華な顔ぶれ。皆さん和気あいあいと日頃の腕前を披露していました。

夕日と共に篠原ホテルに場所を移し、総会が始まりました。まず各支部から一年間の活動報告が発表された後、本部の田口雅生氏から、CMSC全体の新たな活動について提案があり、各支部の代表ごとに真剣な意見が述べられました。

“各地方に点在するモータースポーツを組織的に運営しているクラブはCMSCだけであり、これからも楽しいモータースポーツが行なえるようにすることがCMSCの目的。皆さんの団結で新しい活動を実現し、より素晴らしいクラブにしていきたい”との外川会長のあいさつがありました。また(株)ラリーアートの荻ゼ



ネラルマネージャーのあいさつもあり、“各支部の活躍を、(株)ラリーアートができるだけバックアップしていきたい”と話されました。総会も無事終了し、賑やかな宴会の席へと移りました。



タイムトライアル、4車で1番 / 上原コルティア 4WD (CMSC福島)



タイムトライアル、2車で1番速かった 福士の走り / (CMSC青森)



浅野会長のランサーを駆り、岐阜で夜間練習

これが中国モータースポーツ協会のバッジだ

趙さん(左)と柳さん(右)

ニーハオ! 中国ラリースト

中国モータースポーツ協会(CMSA)ラリー運動員、趙魏魏氏(29)と柳実氏(26)の2人が、CMSC全国大会に参加しました。

香港~北京ラリーを開催するなど、中国ではモータースポーツ熱がここ数年急上昇。そこで中国モータースポーツの将来を築くために、三菱自動車の全面協力のもと来日、1ヵ月半のラリー勉強の途中で訪れたものです。

勉強熱心な2人。コーチ役の山内伸弥氏、篠塚建次郎氏を昼食時もはなはず、質問の雨。山内氏が悲

鳴を上げる程でした。

「モータースポーツがこれから中国で大きくなるうえで、日本のトップラリーストの山内先生、篠塚先生に教えていただいたことを、嬉しく思います。こんな大きなクラブがあるとは驚きです。もっと大きくなってほしい」と感想を話していました。

また、その後11月9、10日岐阜県恵那市をスタートするオールスター・ラリーフェスティバルを見学。CMSC岐阜の皆さんと再会。夜間走行の練習を行ないました。

'85JAF全日本ラリー選手権——レポートfromナビゲーターズシート 今年も皆さんからのご声援を期待します!

ラリーコースは最悪のコンディション “モンレー'85”

ホコリまみれの栗駒山ラリーから3週間。'85年のシリーズ戦も大詰めを迎えて第10戦、群馬スペシャリスト、通称“群スベ”大競演の“モンレー'85”は、祝日を使うため日・月曜の開催となる。前日の土曜日、スタート地点の草津には早くも、石黒監督をはじめ、数人のADVANチームが集合。さてはコースの下見か? と思いきやコースはコースでも緑がいっぱいのコースではしゃいでいるのでした。

快晴のグリーンに対して、ラリーのスタートはあいにくの小雨。本当のラリーコースのコンディションは、最悪

が予想される。まずは、テイルライトのギャラリーステージとして4つのSSを消化する。ここではパワーにものをいわせて、スタリオン・Zが他を圧倒する。初めてのコースが多く、“群スベ”もまだなりをひそめている。しかし、それもつかの間、第2ステージ・ラリー区間が始まると、あっという間に、“群スベ”が上位を独占していく。なにしろ、ターマックの区間でも130psの86で、230psのZをキロ1秒以上も離していくのだから、その差がわかるというものだ。

我ら羽豆チーム、1ステからエンジン不調。ターボ圧が不足している。神岡Zとの差が少しづつ開いていく。「ヤバイな! サービスでいろいろとチエ

ックしてもらおうか。今一歩、電気系に問題があるらしく、完全にはなおらない。上位がつぶれるのを待つしかない。とりあえず、セコク走って、ひとつでも上位に入賞すべく頑張ることにする。しかし車の調子が悪いと、ドライバーの調子も今一歩乗りきれず、少しずつタイムが落ちてくる。2ステを終わって、いろいろと情報を集める。15位前後をウロウロしているようだ。10位以内に入らないとポイントにならない。3ステにかけよう。

3ステの山場、車坂の登りは霧が深くなって、またますます“群スベ”に有利になっていく。最後は国有林のフラットなコース、最後の力走を続けるが、今ひとつ決まらない。ゴールの草

津に戻ると、上位は“群スベ”が独占。神岡Zが健闘して、3位に割って入っていた。羽豆は10位。これでシリーズポイントは、神岡Zがトップにたった。さあ、残すは1戦のみ。

豪雨とバーストにたたられた “ハイランドマスターズ”

約1カ月のインターバルで迎えるのは、最終戦“MOSCハイランドマスターズ”。松本をスタートして高山をメインの舞台として行なわれる、往年の日本アルペンの名手“平さん”こと平林さんが指揮をとるこのラリー、オーソドックスなラリーとして定評がある。ぎりぎりのれるアベレージ設定は、ナビゲータの腕の見せどころ。30数キロ

北から、西から、皆さんお久しぶりです。



◀外川会長(右から2人目)と名コーチ陣(中程3名)。

▲「新しい活動は……」篠原ホテルでの熱の入った討議。



▲「車の調子はいかがですか」本部前に全国から集まった競技車、18台。



CMSC 青森
鶴ヶ谷慶市
(会長)



CMSC 帯広
石崎一彦
(運営委員長)



CMSC 山形
小川日出生
(会長)



CMSC 岩手
佐々木学
(会長)



CMSC 札幌
清水勝一
(事務局長)



CMSC 岐阜
浅井博孝
(会長)



CMSC 福島
菅野茂
(会長)



CMSC 島根
杉坂啓一
(会長)



CMSC 栃木
松本珪典
(会長)



CMSC 群馬
荒井信介
(会長)

CMSC 香川
田中昭男(会長)
イベント開催のため欠席
ご結婚
おめでとうございます。

のロングセクションもあり、非常に楽しめる設定である。

このラリーで神岡Zを逆転するには、4位以上でおかつ神岡Zの前に位置しなければならないことになる。まずはZの前に出ることだ。

軽い足慣らしの感じの第1ステージ、楽にのれるアベレージであるが、バスコンも多く補正に忙しい。区間距離の出方がマチマチで、嫌な予感がする。案の定、ローアベの短い区間で大幅に補正が狂っている。長い区間は苦勞してあわせたのに、ほんの数キロの区間で10秒近くも狂っているところがあり、頭を抱えてしまう。これに対して、神岡チーム、中原ナビは抜群の牙を見せて、第1ステージ断トツ。2ステで挽回するしかない。

2ステも同じように、ギリギリのれるアベが続く。雨の中、多くのチームがバーストを起こしている。我々も気をつけなくては、ハイアベのバースト

は命とりだ。とっているうちに、このラリー唯一のれないハイアベ区間の中程で、なんとバースト!! 目の前が真っ暗になってしまった。約40秒のロス。致命的ロスである。残りの区間に勝負をかけるしかない。しかし、このラリー、あまりにオーソドックスすぎここ一発の山勘勝負の区間がない。残すは3ステのSSのみ。SSは1秒×1.5倍となるので、一発勝負をかけるしかない。

場所は赤谷林道。前半はフラットなハイスピードコースでスタリオン向きだ、と思っていたのだが、後半がなんと道路工事中と雨のせいで泥沼地獄。まるで前へ進まないコースとなっていた。ここでは練習のかいあって!? ゴーチンと誠選手がぶっちぎりで速い。赤谷林道の往復がSSで、その他2~3のラリー区間でゴール。

ついに神岡Zには届かなかった。5位までに入賞すればシリーズ2位であ

る。しかし、運に見はなされた羽豆選手、5位と0.5点差で6位となり、これでシリーズポイントは計308点。310点の誠選手、313点のゴーチンに先をこされて4位に終わってしまった。

ラリーに“もし”は禁句であるが、第1戦のマシントラブル、第2戦の一般車のスタックがなければ、'85年はいい年であったのに、と思う次第である。

今年はチャンピオンを目指します。

まあこんな感じで、'85全日本戦も幕を閉じ、デビュー即チャンピオンのZ、2度目のチャンプの神岡選手、若手代表として今後も頑張ってもらいたいものである。そして我ら ADVAN チームは、RACラリーに向けて全開。もっとも時間と予算の都合で今回

は2台しか準備できなかったもので、羽豆ドライバーは留守番に回り、今年に期待をかけることとなった。伸弥、大庭先生の走りに期待するしかない。

そして今年であるが、例によってADVANチームの予定は未定である。まずはRACに全力投球となるので、今年のことそれが終わってからとなった。ファミリアの4WDも出てくるし、今シーズンはなかなかおもしろい年になりそうである。しかし、もうそろそろこの辺で、チャンピオンを目指さなくては!! 今年も皆さんからのご声援を期待しています。(CMSC本部 田口雅生)



1985年 JMRC 全ラリーチャンピオンシリーズ 第8戦
岩手三菱ダイヤモンドラリー

協賛 岩手三菱自動車販売株式会社
主催 コルトレータースポーツクラブ岩手

スタートする福士選手のランサー



岩手三菱白飯(株)白土 社長(当時)のあいさつ

CMSC 岩手 主催

岩手三菱ダイヤモンドラリー('85JMRC 東北ラリーチャンピオンシリーズ第8戦)：10月12日(土)～13日(日)

走りを存分に楽しめるラリーが大好評

岩手県盛岡市近郊で開催された岩手三菱ダイヤモンドラリー。霧雨の降るあいにくの天候ながらも、シリーズ最終戦ということで大

勢のエントリーがあり、活気あふれるスタートとなりました。

佐々木会長が設定した2ステージ、約300kmのコースは、走りを存分に楽しめるもの。アクセル全開のラリーに皆さん満足顔。表彰式にはピアノなどの豪華商品が並び、大好評のうちに幕。

今年も東北シリーズを2戦、ダートトライアルを1戦主催する予定とか。沢山の参加者が期待されます。

天竺山薬師院での表彰式 CMSC 曹森の福士選手(マイク)は4位



'85CMSC山形ダートトライアル (山形県ダートトライアルシリーズ第5戦)：10月27日(日)

CMSC 山形 主催

BIIクラスでコルディア4WDが優勝!

山形県西川町の特設コースで開催された、'85CMSC山形ダートトライアル。2年ぶりとして、CMSC山形の会員は大忙しの大活躍。そのかいあって、雨の中を95台以上の車が参加、ギャラリーも大勢集まり大盛況。CMSC本部の外川会長や篠塚建次郎さんも出席して華々しく行なわれました。

結果はBIIクラスで鈴木一彦選手(チームラックス)がコルディア4WDを駆って優勝/篠塚建次郎さんのデモ走行もあり、大成功をおさめました。

近くに新しいダートコースも完成する予定とか。“多くの若い人を楽しんでもらいたい”と語る小川会長。これからが楽しみです。



外川会長(マイク)のあいさつ



BIIクラス見事優勝。鈴木コルディア4WD



国際リスト、篠塚建次郎さんのサイン

CMSC 栃木 主催

'85スリーダイヤモンドトライアル(栃木県ダートトライアルシリーズ最終戦)：11月17日(日)

創立10周年、これからもガンバります

栃木市郊外の砂利採石場跡地で開催された、'85スリーダイヤモンドトライアルは、好天に恵まれ、エントリーも118台。遠く岩手県から

駆けつけた選手もいて大盛況のうちに終わりました。三菱賞の1位に輝いたのが霜田秀夫選手(クラブ秋水)、2位が斉藤浩幸選手(クラブスプリント)、3位が針谷勝美選手(クラブ秋水)。3人共ランサーで快走しました。

“賞品は家庭サービスと考えると、テレビや電子ジャーなどを選びました”と語る町田事務局長。入賞者には大好評だったそうです。

またCMSC栃木は今年で創立10年目。総会を兼ねて記念行事を企画中だとか。一致団結、ますます楽しいクラブにしていこうです。



三菱賞1位、霜田秀夫選手のランサー



三菱賞に輝いた(左から)霜田、斉藤、針谷3選手



栃木の人はダート好き? 楽しさあふれる大会風景

'85CMSCダイヤスターラリー：11月2日(土)～3日(日) 第8回KUACダートタイムトライアル：11月23日(土)

CMSC 香川 主催

今年はラリー2戦、ダートトライアル2戦を主催!

'85JMRC 四国ラリーチャンピオンシリーズ第9戦として開催された、CMSCダイヤスターラリー。スタックした車が出たものの、無事終了。好評を博しました。

その後香川スポーツランドで開催されたKUACダートトライアル。香川大自動車部をCMSC香川が後援する形で行なわれ、すでに4、5年続いているイベントだそうです。他の大学の自動車部の参加に加え、一般の選手も多くエントリー。和気あいあいとした雰囲気で行なわれました。BIIクラスでは白井



ダイヤスターラリーで三菱賞に輝いた多田(左)/中川組 修選手の駆るランサーが優勝、これからの活躍が楽しみです。

今年はラリー2戦、ダートトライアル2戦を主催する予定とか。ラリーの原点に戻って、若い人々を育てていこうです。



ダイヤスターラリーで快走! 多田/中川組ランサー